

## プログラミング教育

# 鯖江の知見 全国へ発信



## NPOなど 通信大手と連携

### 小学必修化控え 熱視線

プログラミング教育を進める鯖江市のNPO法人「エル・コミュニティ」とソフトウェア開発のj.i.g. j.p.(東京)は23日、通信大手のKDDI(同)と包括的パートナーシップを結んだ。2020年度から小学校でプログラミング教育が必修化されるのに向け、既に鯖江で行われている教育のノウハウを全国に発信する。指導する人材の育成も協力して進め、将来的にはITを生かした地方創生の実現を目指す。

(杉本拓磨)

鯖江市内の全小中学校では現在、クラブ活動などでプログラミング教育が行われている。さらに同NPOは2年前から指導者を育成する教室を開き、これまでに13人が修了し、市内の小中学校などで講師として活躍している。いずれもj.i.g. j.p.が開発したプログラミング専用パソコン「IchigoJam(イチゴジャム)」を教材に使っている。KDDIは、少子高齢化や人手不足を先端技術で解決

する「超スマート社会」への貢献を目指している。その一環で、子どもにも大人にもプログラミングに関する教育を進めている鯖江に着目した。小学校のクラブ活動や同NPOの教室を視察し、今回のパートナーシップ締結に至った。

今後は3者が連携し、鯖江での教育ノウハウを全国に広めていく。イチゴジャムを使った子どもへの指導法を普及させ、教育人材の育成も推進する。プログラミング教育の環境整備により、地域の情報通信技術(ICT)化を支える担い手の育成にも貢献し、

イチゴジャムを使ってプログラミングを学ぶ子どもたち  
鯖江市旭町1丁目

地方創生につなげる。早速、今夏から岩手県でイチゴジャムを使ったプログラミング教室が開かれる。同NPOの竹部美樹代表は「ITのまちとして取り組んできた成果。鯖江の教育モデルを全国に展開するチャンスだ」と話していた。